

# 未来技術社会実装事業について

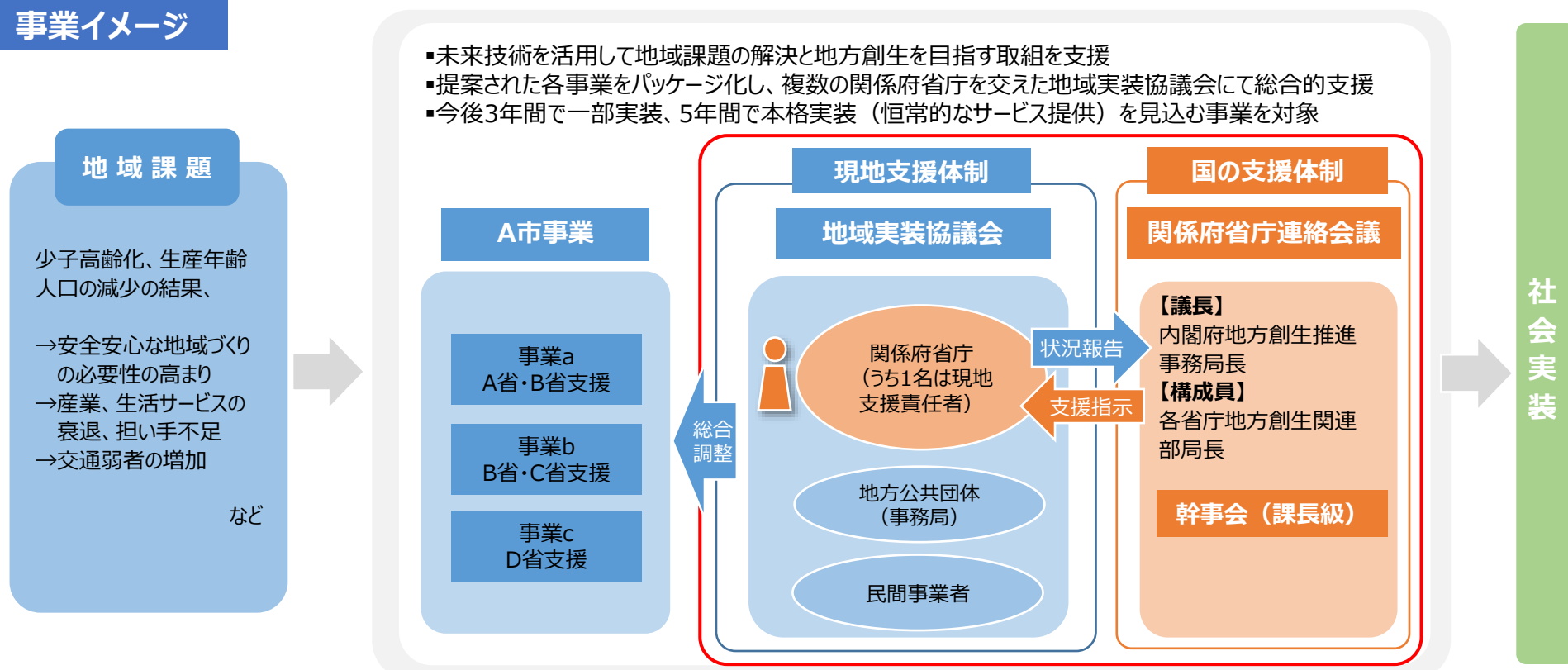
令和7年1月29日  
内閣府 地方創生推進事務局



## 概要

- 未来技術社会実装事業は、「デジタル田園都市国家構想総合戦略」におけるモデル地域ビジョンにて、先導的なスマートシティの創出を目指すための関連施策の1つとして位置づけられています。
- 事業の概要としては、AI、IoTや自動運転、ドローン等の未来技術を活用した地域課題の解決と地方創生を目指し、先導性と横展開可能性等に優れた地方公共団体の取組に対して、未来技術の**社会実装に向けた現地支援体制（地域実装協議会）**を構築し、**関係府省庁による総合的な支援を行う事業です。**
- 未来技術を活用した地方創生に関する提案を地方公共団体から募集し、H30年度からR6年度までに合計56事業を選定。**3年間で一部実装、5年間で本格実装を目指し複数年にわたる伴走型支援を行います。R7年1月時点で22事業※に対して支援を実施中です。**  
※ H30年度からR6年度までの選定合計56事業のうち34事業はR5年度末までに支援終了。

## 事業イメージ



支援継続中

22団体

R2選定

R3選定

R4選定

R5選定

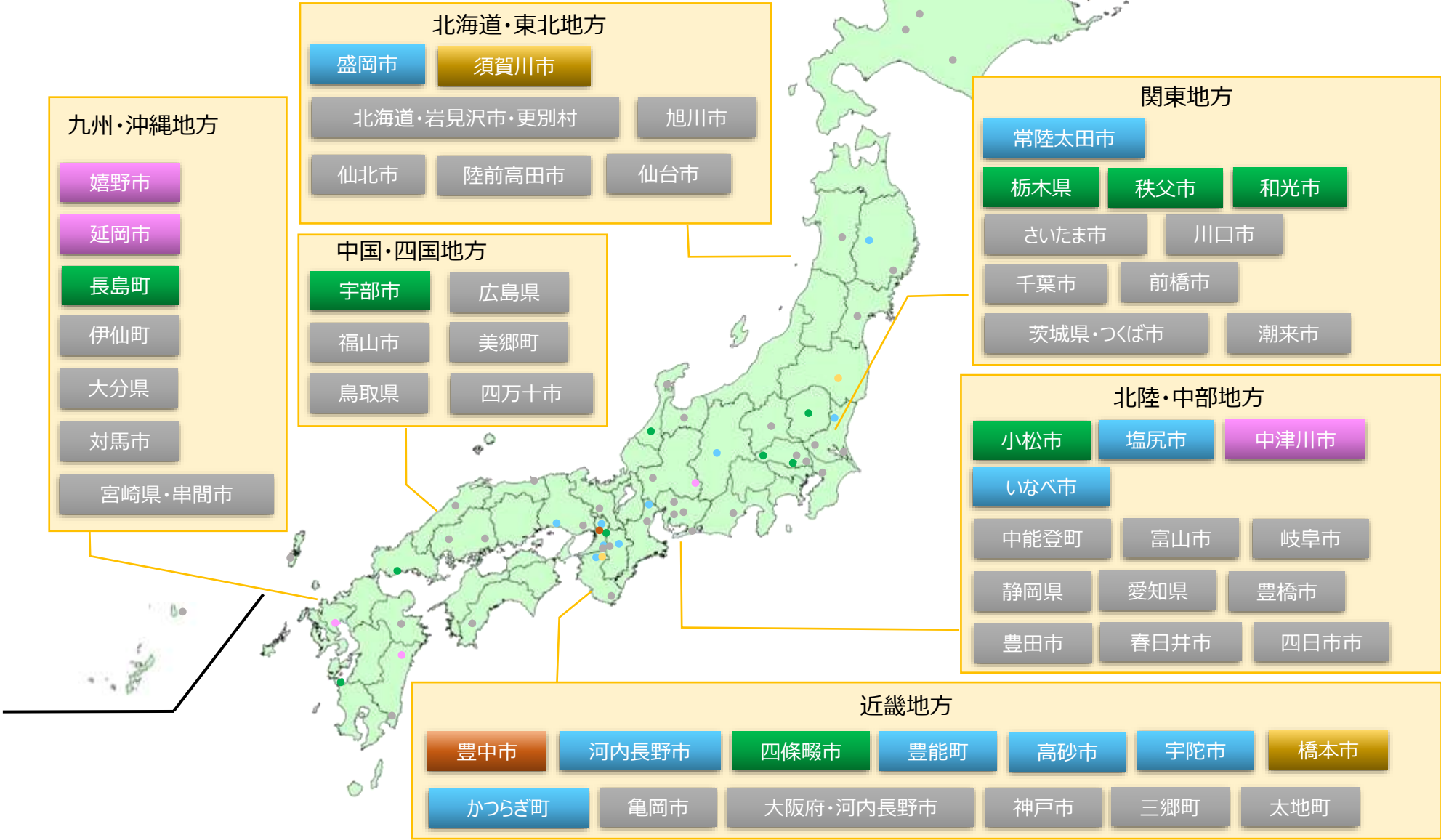
R6選定

支援終了

34団体

終了

R7.1時点



|             | 提案者       | 主な活用技術                    |
|-------------|-----------|---------------------------|
| 令和2年度<br>選定 | 栃木県       | AI、IoT、5G、自動運転、ドローン       |
|             | 埼玉県秩父市    | IoT、自動運転、ドローン 等           |
|             | 埼玉県和光市    | 自動運転 等                    |
|             | 石川県小松市    | 自動運転 等                    |
|             | 大阪府四條畷市   | AI、IoT、自動運転 等             |
|             | 山口県宇部市    | AI、IoT、VR/AR 等            |
|             | 鹿児島県長島町   | IoT、ドローン、VR/AR 等          |
|             |           |                           |
| 令和3年度<br>選定 | 岐阜県中津川市   | 自動運転、VR/AR                |
|             | 佐賀県嬉野市    | AI、IoT、自動運転、VR/AR 等       |
|             | 宮崎県延岡市    | AI、自動運転、キャッシュレス           |
| 令和4年度<br>選定 | 岩手県盛岡市    | AI、IoT、5G、クラウドコンピューティング 等 |
|             | 茨城県常陸太田市  | 自動運転、キャッシュレス、ブロックチェーン 等   |
|             | 長野県塩尻市    | AI、IoT、自動運転 等             |
|             | 三重県いなべ市   | AI、IoT、ビッグデータ 等           |
|             | 大阪府河内長野市  | AI、IoT、5G、クラウドコンピューティング 等 |
|             | 大阪府豊能町    | AI、IoT、5G、クラウドコンピューティング 等 |
|             | 兵庫県高砂市    | AI、IoT、ビッグデータ 等           |
|             | 奈良県宇陀市    | 自動運転                      |
|             | 和歌山県かつらぎ町 | AI、IoT、クラウドコンピューティング 等    |
|             |           |                           |
| 令和5年度<br>選定 | 福島県須賀川市   | 自動運転                      |
|             | 和歌山県橋本市   | AI、IoT、自動運転、ロボット 等        |
| 令和6年度<br>選定 | 大阪府豊中市    | AI、IoT、クラウドコンピューティング 等    |

|          | 提案者          | 主な活用技術              |
|----------|--------------|---------------------|
| 支援期間満了事業 | 茨城県、つくば市     | 自動運転、ロボット           |
|          | 埼玉県川口市       | 自動運転                |
|          | 愛知県          | 自動運転、ロボット、ドローン      |
|          | 愛知県豊田市       | AI                  |
|          | 京都府亀岡市       | 自動運転、ドローン           |
|          | 北海道、岩見沢市、更別村 | 自動運転、ロボット、ドローン      |
|          | 宮城県仙台市       | ドローン                |
|          | 千葉県千葉市       | 自動運転、ドローン           |
|          | 愛知県豊橋市       | AI                  |
|          | 愛知県春日井市      | 自動運転                |
|          | 大阪府、河内長野市    | 自動運転                |
|          | 兵庫県神戸市       | 自動運転                |
|          | 鳥取県          | AI、IoT              |
|          | 大分県          | ロボット                |
|          | 三重県四日市市      | AI、IoT              |
|          | 広島県          | 自動運転、ロボット、キャッシュレス 等 |
|          | 宮崎県、串間市      | 自動運転、ロボット           |
|          | 秋田県仙北市       | 自動運転、ドローン           |
|          | 富山県富山市       | AI、IoT              |
|          | 岐阜県岐阜市       | 自動運転                |
|          | 静岡県          | AI、IoT、自動運転         |
|          | 広島県福山市       | 自動運転、ロボット、キャッシュレス   |

|                 | 提案者      | 主な活用技術             |
|-----------------|----------|--------------------|
| 支援期間満了事業        | 茨城県潮来市   | 自動運転 等             |
|                 | 奈良県三郷町   | 自動運転 等             |
|                 | 島根県美郷町   | AI、ドローン、キャッシュレス    |
|                 | 高知県四万十市  | 自動運転               |
|                 | 長崎県対馬市   | AI、IoT、自動運転 等      |
|                 | 北海道旭川市   | AI、IoT、ロボット、ドローン 等 |
|                 | 岩手県陸前高田市 | 自動運転               |
|                 | 群馬県前橋市   | キャッシュレス・ブロックチェーン   |
|                 | 埼玉県さいたま市 | AI、IoT             |
|                 | 石川県中能登町  | AI、IoT、ロボット、VR/AR  |
|                 | 和歌山県太地町  | AI、自動運転、ドローン       |
| 34事業のうち<br>12事業 | 鹿児島県伊仙町  | AI、IoT、自動運転 等      |

## 埼玉県秩父市

## 山間地域におけるスマートモビリティによる 生活交通・物流融合事業

## IoT、自動運転、 ドローン等

### 地域課題・目指す将来像

#### 地域 課題

- 市域に山間地を多く抱え、災害時には生活インフラが寸断されることから、物流・交通の新たなモデル構築が必要となっている。
- 山間地の住民の多くが高齢者であり、今後、医療受診が困難となる状況が予想される。
- 人口減少が著しく進む山間部の過疎地域における公共交通網の維持・存続が、近い将来、難しい状況にある。

#### 将来像

- 未来技術を活用し、人とモノの移動の困難さに着目した山間地域での物流・公共交通ネットワーク「秩父モデル」を構築すると同時に、複数のサービスを有機的につなげる「秩父ダッシュボード」を創生する
- 新たな事業や産業を誘致し、雇用の創出につなげて人口減少や流出を抑制し、地域の活力を生み出す。

### 推進体制

名称：秩父市未来技術社会実装協議会

|              |                                                                                                                                          |
|--------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 地方公共団体等      | 秩父市、埼玉県、(公財)埼玉県産業振興公社、秩父商工会議所、埼玉県商工会議所、ちちぶ雇用活性化協議会、大滝町会                                                                                  |
| 国（★は現地支援責任者） | ★内閣府（地方創生推進事務局）、警察庁（交通局）、総務省（関東総合通信局）、厚生労働省（関東信越厚生局）、国土交通省（関東地方整備局・関東運輸局）                                                                |
| 大学等          | 早稲田大学、(公財)本庄早稲田国際リサーチパーク                                                                                                                 |
| 民間事業者等       | (株)ゼンリン、楽天グループ(株)、(株)西武ホールディングス、(株)西武観光バス、西武鉄道(株)、(株)オプナス、(株)アズコムデータセキュリティ、東京電力パワーグリッド(株)、(株)三菱総合研究所、ヤマト運輸(株)、佐川急便(株)、日本郵便(株)、グリッドスカイウェイ |

### 課題解決に向けた取組

（写真：秩父市提供）

#### ①ドローン物流事業【ドローン】

- ・ドローンを活用して日常の生活用品や医薬品の配送を行い、高齢者や買い物弱者への支援を行う。
- ・災害時における交通インフラ寸断の際の物資輸送のルートを確認する。



#### ②遠隔医療事業【IoT、5G】

- ・高齢者が多い山間地域での医療を確保するため、IoTや5Gなどの未来技術を活用してオンライン診療を導入。
- ・地域内の医療機関との連携により、受診困難者への支援体制を構築する。
- ・服薬指導についても技術実証を行い実装を目指す。



#### ③秩父版MaaS（貨物混載・EVカーシェアリング）事業【自動運転】

- ・既存の物流・交通網を生かしながら、地域住民の生活の足の維持と観光客を含めた交流人口の利便性の向上に資する域内での共同配送、貨客混載、買い物支援サービス等の構築を自動配送の技術等を織り交ぜて構築する。



石川県小松市

小松市における2大交通拠点をつなぐ  
自動運転バスの導入事業

自動運転等

地域課題・目指す将来像

地域  
課題

- 新幹線駅と空港を併用（ルール&フライト）した広域エリアへの乗継利便性向上や、まちなかへの人流拡大が重要となる一方、駅・空港間の連絡バス利用者は空港利用者数の1割未満に留まっている
- バス運転手の高齢化や人員不足に対応できる効率化・省人化された運行体制の構築が不可欠

将来像

- 都市目標の一つ「世界に時めく日本海側の拠点都市こまつ」の達成に向け、広域移動の拠点となる新幹線駅・空港間のアクセス環境を向上させ、北陸屈指の交通結節点としての本市の役割を拡大  
〔利便性を高めたバス運行体制構築、まちなかへの人流拡大と経済波及効果、効率化・省人化された持続可能な公共交通の実現〕

推進体制

名称：小松市未来技術社会実装推進協議会

|              |                                                                     |
|--------------|---------------------------------------------------------------------|
| 地方公共団体等      | 小松市、石川県                                                             |
| 民間事業者との連携協定  | BOLDLY(株)、(株)ティアフォー、アイサンテクノロジー(株)、損害保険ジャパン(株)                       |
| 国（★は現地支援責任者） | ★国土交通省（北陸地方整備局金沢河川国道事務所、北陸信越運輸局、大阪航空局小松空港事務所）、警察庁（交通局）、総務省（北陸総合通信局） |
| 大学           | 金沢大学、公立小松大学                                                         |
| 民間事業者等       | 日野自動車(株)、ジェイ・バス(株)、西日本旅客鉄道(株)、北鉄加賀バス(株)、小松商工会議所                     |

課題解決に向けた取組

（写真・図：小松市提供）

①駅-空港間シャトル 自動運転レベル2又は3による定常運行【自動運転】

- ・ 北陸新幹線小松駅開業を第1ターゲットに、自動運転バスを導入し、自動運転レベル2での通年運行を開始
- ・ 予定ルートでの自動運転の実現可能性を検証するため、金沢大学等との連携による実証実験を実施
- ・ プロジェクトの実働を担う枠組みとして、民間事業者4社と自動運転バスの定常運行に向けた連携協定を締結
- ・ 定常運行に向け、予定ルートの高精度三次元地図の作成やリスクアセスメント、試験用車両による実証実験を実施
- ・ 実装用の車両を用いた長期試験走行や運行トレーニングのほか、遠隔監視の取扱い訓練を行い、2024年3月9日より通年運行を開始



2023年度  
長期試験走行



車両の遠隔監視

②駅-空港間シャトル 自動運転レベル4本格運行【自動運転】

- ・ 2025年以降の自動運転レベル4（特定条件下における完全自動運転）の実装を目指し、技術水準向上に向けた取組を継続実施
- ・ 遠隔監視システムや仕組みづくりなど、自動運転での交通サービスに求められる体制を強化し、運転手の高齢化・不足にも対応した「持続可能な未来型の公共交通」として社会実装を予定



技術の高度化と自動運転  
に対応した運用体制確立  
に向け事業を推進



大阪府豊中市

子育てフリータイムプロジェクト  
～子育て世帯に自由な時間を～

AI（生成AI）

地域課題・目指す将来像

地域  
課題

- 子育て世帯は、**時間的な余裕のなさ**から、経済的、精神的など様々な負担を感じている。特に共働き世帯にとって、平日の夕方忙しい時間帯になっており、**子どもと一緒にゆっくり過ごす等のゆとりがないことが推察される。**
- 民間の子育て支援サービス等の活用を含めて**社会全体で子育てを支援する仕組みが求められている。**一方、これらの外部サービスは「**心理的」「時間的」「距離的**」アクセスの壁により、一般的な普及には至っていない。

将来像

- 「子育ては親だけがやるもの」という考えから脱却し、**子育ての社会化を進める。**
- 民間活力の導入とデジタルガバメント推進の両面から子育てしやすくするためのサービスを充実させ、「**子育て世帯がずっと住み続けたい**」と思うまちを実現する。

推進体制

名称：豊中市未来技術地域実装協議会

|              |                                                                               |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 地方公共団体       | 豊中市、大阪府                                                                       |
| 国（★は現地支援責任者） | ★内閣府（地方創生推進事務局）、デジタル庁（戦略・組織グループAI班）、こども家庭庁（長官官房総務課）、内閣官房（デジタル田園都市国家構想実現会議事務局） |
| 民間事業者（調整中）   | メディア事業者、保育、介護サービス事業者、交通サービス事業者ほか                                              |

課題解決に向けた取組

（図：豊中市提供）

子育て支援サービスのポータルサイトを構築し、生成AIを活用することで、「子育て世帯×サービス」のマッチング支援、「人材×事業者」のマッチング支援を実施  
⇒社会全体で子育てを支援する仕組みの実現

①事業者参入支援【AI（生成AI）】

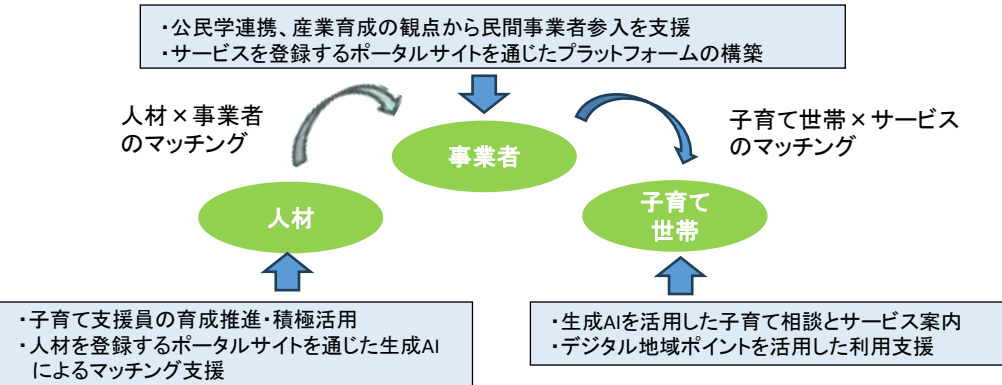
- ・ 子育て支援サービスプラットフォームの構築（生成AIチャットボットの実装）
- ・ ポータルサイトを通じた情報の一元化

②利用支援【AI（生成AI）】

- ・ 生成AIによる子育て相談、子育て支援サービスのマッチング
- ・ 利用にあたってのインセンティブ付与（マチカネポイントの活用）

③人材養成支援【AI（生成AI）】

- ・ 子育て支援員の育成（子育て支援サービス事業者に配置）
- ・ 生成AIによる人材と事業者のマッチング



事業の全体イメージ

## 1 各選定団体における取組状況の共有

- ・各選定団体の取組状況について、概要資料を作成、更新し情報共有を実施。
- ・また、3年目及び5年目においては、取組状況の概要に加え、事業推進にあたり苦労した点や、工夫した点、担当者の声等をまとめた「取りまとめ報告書」による情報共有も実施。

(内閣府HP：<https://www.chisou.go.jp/tiiki/kinmirai/index.html>)

(個票)



(取りまとめ報告書)



## 2 「交流会」・「"チャレンジ！未来技術"講習会」の開催

頻度：年2～3回程度

- ・先進事例の見学や有識者の基調講演、意見交換会等を通じ、社会実装のための知識の共有を図るとともに、選定団体同士の交流機会を設定。
- 令和6年度は、埼玉県秩父市にて開催。

(内閣府HP：[https://www.chisou.go.jp/tiiki/toshisaisei/mini\\_symposium/20241219/index.html](https://www.chisou.go.jp/tiiki/toshisaisei/mini_symposium/20241219/index.html))

- ・講習会（オンライン開催）については、年2回程度開催。

(交流会の様子)



(講習会のチラシ)



## 3 メールマガジンの配信

配信時期：月2回

- ・法改正や審議会等の国の最新動向
- ・国内外の最新事例
- ・選定団体の直近の取組成果

(国の最新動向)



(国内外の最新事例)



## その他の支援実績

- ・令和6年度は「新しい地方経済・生活環境創生交付金（旧：デジタル田園都市国家構想交付金）」の活用を検討する団体を対象に、オンラインでの事前相談の機会を設定。
- ・各府省庁の補助金情報を取りまとめ、年度末に選定団体へ周知。

## 募集する提案の対象※提案者は「都道府県or市区町村」。共同提案も可

次の(1)~(4)に該当する事業を対象とする。

- (1) 未来技術を活用し、地域課題を解決する（地方創生に寄与する）事業であること。
- (2) (ア) 先進性があり、かつ、(イ) 将来の横展開・本格普及にふさわしい事業であり、具体的には以下のア及びイの要件に該当する事業であること。
  - ア 次の①又は②の技術の実装に関する事業であること。
    - ① 以下のいずれかに当てはまる未来技術
      - ・ AI、IoT、5 G、クラウドコンピューティング、ビッグデータ
      - ・ 自動運転
      - ・ ロボット（ドローン含む）、VR/AR
      - ・ キャッシュレス・ブロックチェーン
      - ・ その他（上記に該当しないが未来技術として考えられるもの）
    - ② 戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）等の研究開発成果を活用する技術
  - イ 多くの地域に共通する地域課題の解決を目指す取組や技術的に他地域への普及が可能な取組等で、取組の成果が他の地域へ広がる蓋然性が認められる事業であること。
- (3) 今後3年間（令和9年度まで）で実装（一部でも可）が見込まれ、5年間（令和11年度まで）で本格実装される（恒常的なサービス提供）事業であること。
- (4) 省庁横断的な支援を必要とする事業であること。

※本事業による財政面の措置はなく、実証実験等に対する費用について、新しい地方経済・生活環境創生交付金等の各種交付金、補助金等の活用を想定している。

## スケジュール ※年度によって時期は前後します。

- |       |               |
|-------|---------------|
| 1月28日 | 公募開始          |
| 3月6日  | 公募〆切          |
| 3月下旬  | スマートシティ合同審査実施 |
| 4月上旬  | 選定結果の公表       |

## お問い合わせ先

内閣府地方創生推進事務局 未来技術実装担当  
電話：03-6206-6175

## 未来技術活用 相談窓口



未来技術とは…  
AI、IoTや自動運転、ドローン等

未来技術の活用を考える地方公共団体向けに

## 相談窓口 を設置します！

未来技術の活用に  
困ってませんか？



解決したい地域課題があるけど、  
何から手を付けたらいいかわからない…



活用したい技術はあるけど、  
具体的に何から進めていいかわからない…



活用したい技術について、  
先行事例を知りたい…

### 関連リンク（内閣府HP）

「未来技術社会実装事業」  
について

「未来技術活用相談窓口」  
について



お気軽に  
ご相談ください！

← 相談はこちらから。

※「未来技術社会実装事業」に応募する  
意向がない場合にもご相談は可能です。

問い合わせ先  
内閣府地方創生推進事務局 都市再生・未来技術実装担当  
☎ 03-6206-6175